

prodrive



Prodrive JAPAN

0-1, Kyobashi 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-8340 JAPAN  
Phone: (03)3563-6926

[www.prodrive-japan.com](http://www.prodrive-japan.com)

SPECIAL THANKS : TOMMY KAIRA JAPAN



OFFICIAL WEBSITE INFORMATION

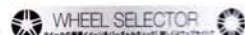
**PRODRIVE PHOTO BOOKプレゼント中** (写真集)

WEBから申し込みだけで無料。PRODRIVE SPECIAL SHOPで入手できます。(数に限りがございます)

**SPECIAL MOVIE** PRODRIVEホール装着車両の動画がご覧いただけます。

**PHOTO GALLERY** PRODRIVEホール装着車両のスタイリッシュな写真がご覧いただけます。

株式会社プロドライブPRODRIVE  
PRODRIVE JAPANの最新情報をご覧ください。



# AUDI A4 AVANT **Rowen**

Jチューナー発  
本気エアロ



↓ 純正の雰囲気を活かすアフター  
スポイラー、FRP (¥71,400) とカー  
ボン (¥92,400) を用意。LED付き  
フォグカバー (¥73,500) も注目





←オールステンレスのプレミアム01S。スライドなしは¥278,250。70mmは¥299,250だ。リアアンダーディフューザーはFRP(¥71,400)とカーボン(¥81,900)を設定

# トミーカイラが手掛ける インポートのカタチ 孤高の狼を纏う アウディの急先鋒

彗星の如く、突如現れた新ブランド「狼炎(ロウエン)」。A4を皮切りにTTなどアウディを専門としたJ'sブランドである。しかし、新ブランドとは思えない、この安定したラインと佇まい。そこには確かな礎があったのだ！

写真●藤井元輔 文●松本奈巳[at imp.編集部]



## ジャパンメイドの緻密な製法

↑まるでオプションパーツのようなフィッティングのよさに注目したい。製作の段階から最大限こだわっているのだ。ちなみにリアアンダーディフューザーはSライン専用となるので注意

→足もとには鍛造のプロドライブGC05Kの19インチとポテンザS001を組み合わせ、スポーティな印象だ  
↓センター部に赤いアルカンターラ、その他はレザーで貼り替え済み。こちらはTKファクトリーで対応する



→鍛造の4ポットキャリバーは355mmローターとのセットで制動性能を大幅に向上。¥367,500

↓インテリアのドライカーボン加工やステアリング貼り替えもTKファクトリーにて対応している



フィットインクも最重要項目  
デザインだけでない満足感！  
東京オートサロンにはA4アバン  
トとTTを展示。華々しいデビュー  
を飾った新生ブランド、ロウエン。  
アウディをさり気なく上級に装うイ  
メージには、老舗の風格さえ漂って  
いる。それもそのはずで、じつはこ  
のロウエン、国産車のスタイルアッ  
プやチューニングでは名の知れた、  
トミーカイラがプロデュースしたア  
ウディ専門のブランドなのだ。  
その先陣を切った形で登場したの  
がA4のセダンとアバント。フロ  
ントはアンダースポイラータイプと  
し、純正の美しさをグレードアップ  
した印象。バンパー下部にタッピン  
グビスで固定するため、サイドへの

穴開けは不要だ。また、脱着を防止  
するためセンターは純正に被せると  
いう工夫もあり。デザインはもちろ  
んのこと、装着した美しさ、確実性  
など機能面にも最大限の注意を払う  
など、メイドインジャパンらしい細  
かい気配りが感じられる。  
後方に目を向ければ押し強い強い左  
右4本出しマフラーと、それにピツ  
タリ合ったアンダーディフューザー  
が主張している。このマッチングが  
ドンピシャなのも当然で、プレミア  
ム01Sマフラーに合わせ、エアロ側  
をデザインしたという。しかもフィ  
ッティングには相当こだわったよう  
だ。純正リアアンダーと交換するタ  
イプで、取り付けには純正部品をそ  
のまま流用できるのもうれしい。  
あくまでもスマートにアウディの  
洗練された雰囲気をワングレード高  
めたオーラを纏う。今後フロントに  
はバンパータイプの開発を予定して  
いるし、A5やA1、そしてA6に  
も着手する。アウディは期待のベ  
ースモデルだけに、新生ブランドがど  
んな動きを見せるか目が離せない。

## WORK

<http://www.work-wheels.co.jp/>

### グノーシス初の鍛造に視線集中

兼ねてから噂されていたグノーシスの鍛造モデルを履くアウディA5が登場。20インチで堂々とした存在感を見せるのは、シャープな10スポークのFCV01、Y字基調の7メッシュを採用したFCV02という布陣。またグノーシスは特殊製法を用い、2ピースながら軽量化に成功したというHS201とHS202もお披露目した。ラインアップの充実はうれしい限りなのだ。



## iS. ME

<http://www.isme.co.jp/>

### ラッピング始動で内外装オマカセ

イズミーが手掛けたBMW M3。インテリアはブラック&ホワイトを基調に背もたれ部にチェッカー柄をあしらうなど、さすがのセンスを感じさせる。またマットブラックの外装はボディラッピングによるもの。こちらもイズミーによる施工だ。



## KUMHO TIRES

<http://www.kumho.co.jp/>

### スポーツ性能に自信のモデル続々



エクスタV700で筑波や富士でのミニ最速を誇るという、ミニガーデンのテスト車両を展示。韓国ブランドのタイヤクムホは積極的に性能向上を図っている。他にもエクスタEスポーツなど、気になるモデルを多数展示した

## Rowen

<http://www.rowen-tk.com/>



### J'sの本気を見せつけるTT発進!

国産カスタムでの知名度を誇るトミーカイラがプロデュースしたブランド、ロウエン。TTはセンター出しのハイパフォーマンスエキゾーストシステム「プレミアムS」を装着。センター出しに合わせたエアロにも注目だ。

## ZEES

<http://www.zees.co.jp/>



### 紳士的にパワーアップの排気系

完全ボルトオン設計のマフラー、シュレンザータイプBOと専用リアアンダースポイラーで、ジェントルに迫力のリアスタイルを見せつけたメルセデス・ベンツS550。テール交換式でパワーアップも実現したそう。内外装に散りばめたスワロフスキーも合わせ、その存在感は際立っていた。

## Active

<http://www.news-active.jp/>



### 小技を盛り込みさり気なくオリジナル

E350アバンギャルドをベースにAMGエアロを装着し、ホイールはHREのP40を選択するなど、身近に出来るスタイルアップをコンセプトとした一台。ただし各部のメッキ調塗装やロゴを入れたキャリパー塗装、ネーム加工を施したテールフィンリッザーなど細部の工夫が光っていた。

Lorinser  
PERFEKTION DER DETAIL



## Lorinser

<http://www.lorinser.co.jp/>

### W221の09&10モデル一見せ!



メルセデスチューナーであるロリンザーからはW221とW463。じつはこのW221、すべてにおいて右側が09年。左側が10年モデルを装着しているのだ。マフラーは右がバンパーに収まる1本出しに対し、左は2本出し。エアロパーツも含め、違いを一目で確認できるというユニークさ。来場者も思わず二度見!